

図書館だより

春日井市図書館
0568-85-6800



2015年 夏号

テーマ 熱

日ごとに気温が上昇し厳しい暑さにとまどい、ひたすら涼しさ、冷たいものが恋しい季節を迎えました。そこで、今回は、暑さから連想して「熱」をテーマに、身近に楽しむ熱帯植物&魚、誰かに伝えたい熱い思い、大切なエネルギー源＝食糧、地球温暖化がもたらす異常気象に関するオススメの本をリストアップしました。新たな発見と思ってもかけない素敵な「本との出会い」につながればさいわいです。

まずは基礎知識



身近に楽しむ熱帯植物&魚



『熱帯植物巡紀』 たなか こうじ 田中 耕次/著 誠文堂新光社 471.7/ネ/13

熱帯地域とは、北回帰線と南回帰線に挟まれた地域です。私たちが普段、住んでいる環境と気候が違いますので、植物にも違いが見られます。大きな葉に、カラフルな花、どれも人を惹きつけてやみません。そんな熱帯植物に魅せられた作者が、珍しい植物を求めて、世界中を旅した記録です。我々にとっては、珍しくても、地元の人にはなじみの深い熱帯植物。現地に行ったつもりで、楽しんでみましょう。



実践編 1

『日本で見られる熱帯の花ハンドブック』 つちはし ゆたか 土橋 豊/著 文一総合出版 471.7/ニ/13 高蔵寺



世界には、たくさんの種類の熱帯植物があることがわかりました。茹だる様な暑い夏に彩を添える為、できれば家の中に温室を設けて、熱帯植物を栽培したいところですね。しかし、経費、土地、管理の問題など、現実には厳しいです。だけど、簡単に諦めてはいけません。日本国内でも、見られる熱帯植物はたくさんあります。写真を眺めるのはもちろん、巻末に紹介されている植物園に赴いてみてはいかがでしょうか？

実践編 2

『はじめての熱帯魚飼育』 げっかん あく あら いふ へんしゅうぶ 月刊アクアライフ編集部/編 エムピージェー 666.9/ハ/13 東部

こんな暑いのに、外出なんて無理！という方は、自宅を熱帯風アレンジしてしましましょう。熱帯魚でしたら、室内を熱帯風に、涼しく演出してくれるかもしれません。こちらは、写真が豊富で、大変分かりやすい本となっています。事例写真を見ると、イメージの幅が広がるかもしれません。

多少の出費と機器を揃える為の外出には、目を瞑ってください。



みなさんは熱いと聞いてどんな状況を思い浮かべますか？
熱いとは気温だけを表す言葉ではありません。
感情が燃え上がるさま、熱意があるなどという意味も含まれます。このページでは、誰かに伝えたい！そんな熱い思いがこもった本を紹介します。



『真夜中のディズニーで考えた働く幸せ』 かまた ひろし 鎌田 洋／著 河出書房新社 36/マ/14

作者は「ディズニーランドで働きたい！」という思いを持ち、入社が決まる前から勤めていた会社に辞表を出します。それから3年間、4回もの試験に落ち、5度目でようやくオリエンタルランドの就職が決まります。奮闘するエピソードを通して、仕事と人生、夢と幸せを考えるためのヒントが紹介されています。最後には書き込み式のワークシートも付いています。



『大丈夫！キミならできる！』 まつおか しゅうぞう 松岡 修造／著 河出書房新社 15/タ/12

「熱い」と聞いてこの方を思い出す人も多いのではないでしょうか？この本は松岡修造さんの熱血応援メッセージが書かれています。ルールや決まりごとを作り、夢に向かって努力していく。松岡さん流のアドバイスが紹介されています。あきらめな！がんばれ！と背中を押してくれる1冊です。

『あきらめない 働くあなたに贈る真実のメッセージ』

むらき あつこ 村木 厚子／著 日経BP社 289.1/ア/11

女性が一生働くなんてと考えられていた時代に、作者は結婚し子どもが生まれてからも仕事を続けます。同僚や家族に支えられ、仕事も家庭も順調に進んでいた矢先、無実の罪で逮捕されてしまいます。164日間の勾留生活でも決してあきらめず、主張を貫き、最後には無罪判決を勝ち取り、職場に復帰することができます。どんな立場でもあきらめず、強い意志を持って生きるすばらしさを教えてくれる話です。

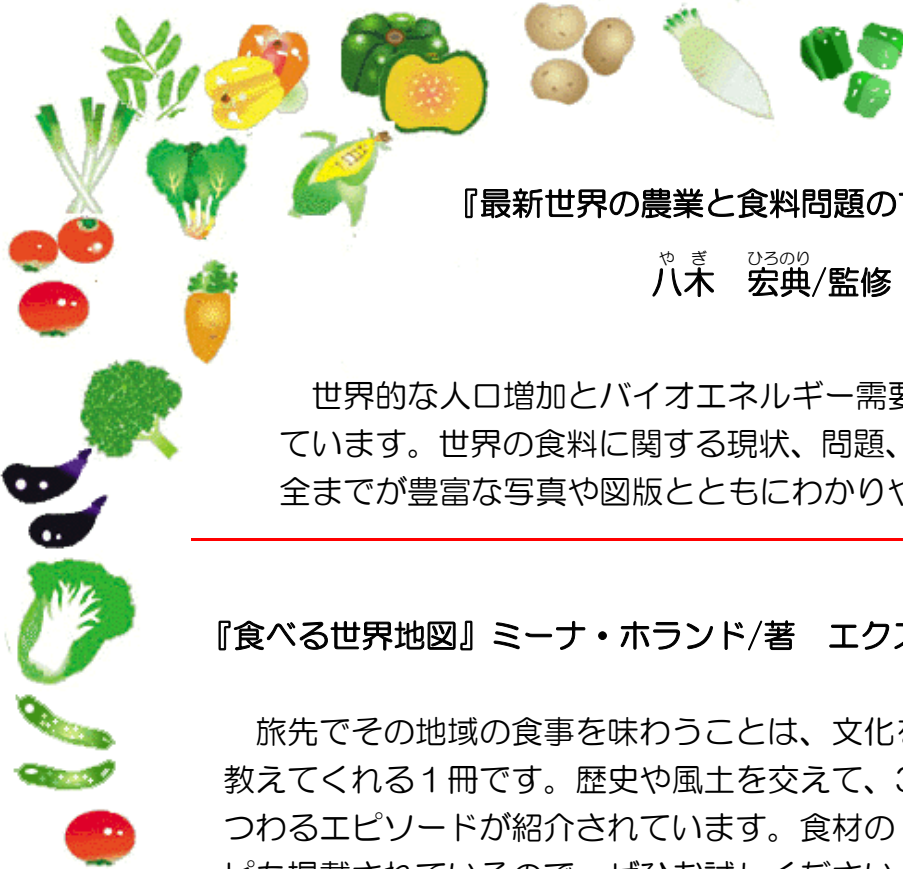


『夜回り先生』 みずたに おさむ 水谷 修／著 サンクチュアリ・パブリッシング 367.6/ヨ/04

作者は夜間高校の教師として働く一方、夜回りとして繁華街の見回りをしています。この本には出会った生徒たちとのエピソードが語られています。作者はどの子どもたちにも「いいんだよ」と声をかけ、今日から一緒に考えようと伝えます。そんな作者の熱い思いに、次第に心を開いていく子どもたちの姿がとても感動させられる1冊です。

食糧

私たち生きるものにとってなくてはならない、大切なエネルギー源＝食糧
食料問題や食文化など、食に関する本を紹介します。



『最新世界の農業と食料問題のすべてがわかる本』

やき ひろのり
八木 宏典/監修 ナツメ社 611.3/サ/13

世界的な人口増加とバイオエネルギー需要から、食料不足が心配されています。世界の食料に関する現状、問題、取り組みから食の安心・安全までが豊富な写真や図版とともにわかりやすく解説されています。

『食べる世界地図』 ミーナ・ホランド/著 エクスナレッジ 383.8/タ/15

旅先でその地域の食事を味わうことは、文化を身近に理解することだと教えてくれる1冊です。歴史や風土を交えて、36の国と地域の料理にまつわるエピソードが紹介されています。食材の「買い置きリスト」やレシピも掲載されているので、ぜひお試しください。

『禁断のレシピ』 ^{えだもと}枝元 なほみ/著 NHK出版 596/キ/14

二人の料理家がボリュームたっぷりで紹介する極上の世界。健康志向が定着しつつあるこの世の中で、やっぱりカロリーたっぷりのおいしいスイーツやピザは食べたいですね。たまには……と食べ始めて、おいしいからついつい食べ過ぎてしまう禁断のレシピ集です。

『ファッションフード、あります。』 ^{はたなか}畑中 ^{みおこ}三応子/著 紀伊國屋書店 383.8/フ/13

「ファッションとして消費されるようになった流行の、特に外来の食べ物」を「ファッションフード」とし、江戸時代から現代まで紹介されています。今では日本の伝統食である鮭や天ぷらもファストフードだったんですね。一世を風靡したあの品との出会いを楽しめます。



地球はもっと熱くなる

私達の地球では、自然界の巨大なエネルギーによる殺人熱波・巨大台風・温暖化がもたらす異常気象が起っています。新聞やニュースでよく見るシーンと片付けてはいませんか？今、私達がなすべきことは？科学の最前線でわかってきたこと、まだ、わからないこと、『気象』に関する本をご紹介します。



『図解・台風の科学』^{うえの}上野 ^{みつる}充/著 ^{やまくち}山口 ^{むねひこ}宗彦/著 講談社 451.5/ス/12

毎年、必ず台風は日本にやってきます。たった1個の台風で日本の年間発電電力量に匹敵するエネルギーを持っていると言われています。

では、台風はどのように出来、発達していくのでしょうか？さまざまな、切り口で台風のメカニズムを解き明かしています。



『異常気象』 マーク・マスリン/著 緑書房 451/イ/06



日本をはじめとするアジアや世界中で起っている集中豪雨・竜巻・超巨大台風など異常気象の特徴、原因、地球温暖化への影響についてユニークに説明しており、豊富なカラー写真や図も使って原因を分析し、対応策にも触れています。

『天気と気象』^{さとう}佐藤 ^{きみとし}公俊/著 学研パブリッシング 451/テ/13

毎日、テレビで気象予報士が天気予報を説明している画面をよく見かけますが、異常気象や地球温暖化などは、なぜ、起こるのでしょうか？どうしたら事前に知ることができるのかを気象予報士の基礎知識でもって幅広く紹介しています。

